

大島 和 輪 話

共同実施だより 第3号

R1. 12. 20

発行 大島・久賀グループ



防災・減災について考えてみよう！

今年も台風や地震、集中豪雨など全国各地でたくさんの自然災害が起きました。
自分と家族の命を守るため、いつ起こるかわからない災害に日頃から備えましょう！

できてますか？日頃からの備え

□非常持ち出し袋の準備

右の表を参考に、必要最小限の必需品をリュックサック等にまとめておきましょう。(10～15kg程度)旅行用のスーツケースに保管するのもオススメです。

□非常備蓄品の準備(自宅で生活する場合)

最低3日間(できれば1週間)の生活を支えるための備えをしましょう。(簡易トイレ、卓上コンロ、長期保存がきく食料、飲料水(ひとり1日3L)など)
車のガソリンは日頃から満タンを心がけましょう。

□家具の固定

転倒・落下防止の金具などで家具を固定したり、本棚は重い物を下に収納して重心を低くしたりしましょう。
窓ガラスは飛散防止の対策をしましょう。

□家族での話し合い

災害発生時に家族が一緒にいるとは限りません。また、連絡をとりたくても電話はつながりにくくなります。
家族がバラバラになった時の集合場所や非常時伝言ダイヤル(171)の使い方を確認しましょう。

非常持ち出し品チェックリスト

- 現金(公衆電話用に10円、100円玉も)
- 貴重品(健康保険証の写し・預金通帳など)
- 食料(缶詰・レトルト食品など)
- 飲用水(ミネラルウォーター)
- 携帯電話(充電器も)
- 懐中電灯(予備の電池も)
- ラジオ(携帯も充電できる手回し充電式を)
- 生活用品(衣類・下着・ビニール袋・タオル・軍手・ナイフ・ライター・トイレトーパー・ウェットティッシュ・マスクなど)
- 薬(絆創膏・消毒薬・鎮痛剤・常用薬など)
- 音が出るブザーや笛
- 予備の眼鏡・コンタクトレンズ
- ベビー用品・生理用品・介護用品

ポイント

- ・自分や家族の状況に合わせて選ぶ
- ・必要な物を優先順位を決めて
- ・軽く、コンパクトに
- ・定期的に中身をチェック



ハザードマップ

町のホームページに掲載されています。
自宅や勤務校で想定される災害はなんですか？

土砂災害
ハザードマップ

地震防災
マップ

津波
ハザードマップ

高潮・洪水
ハザードマップ

周防大島町防災メール

携帯やパソコンなどで登録すると、町から防災情報や気象情報を受取ることができます。

まだ登録されていない方は、この機会にぜひ！
お住まいの市町の防災メールも登録を！

◆登録・変更専用 QR コード◆



8月の事務部会で「危機管理」について研修を行いました。

平成17年、台風で錦川が氾濫し校舎1階が浸水被害を受けた学校の事務職員からその時の状況やその後の対応などの話を伺いました。「災害は予測不能。いつでも災害に対応できるように準備しておくことが必要。」の言葉が心に残りました。災害が起きてから出来ることは限られます。想像力を働かせ、今、出来ることを1つでも実行しましょう！



～令和元年度 給与勧告について～

【本年度の給与勧告のポイント】

- 給料表を引き上げ改定
 - ・初任給及び若年層の給与月額を引き上げ
- 期末・勤勉手当(ボーナス)を引き上げ改定
- 部活動指導業務を現行の4時間程度1日につき3,600円から3時間程度2,700円に改定

*期末・勤勉手当の支給割合

差額支給日は12月25日の予定です

手当の別 支給期	期末手当	勤勉手当	合計
6月期	1.30月分	0.90→0.95月分	2.20→2.25月分
12月期	1.30月分	0.90→0.95月分	2.20→2.25月分
年間計	2.60月分	1.80→1.90月分	4.40→4.50月分

イデコ (個人型確定拠出年金) とは？

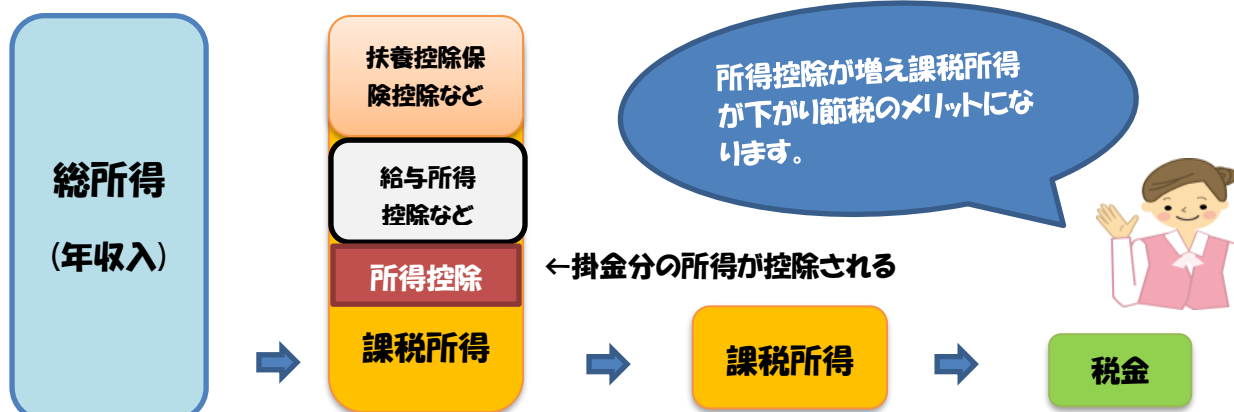
iDeCo「イデコ」とは、個人型確定拠出年金の愛称です。iDeCoは、国が税制優遇により、自助努力による積立てを支援する“私的年金制度”です。自分で申し込み、自分で掛金を拠出し、自らが運用方法を選び、掛金とその運用益との合計額をもとに給付を受けることができます。

加入者自身の責任で運用し、自分で年金を積立てしながら節税できます。

拠出限度額 月1、2万円
(年間14、4万円)

*メリット 掛金の拠出時 … 掛金は全額所得税控除
運用時 …… 運用中は非課税
受取時 …… 税金が優遇(退職所得控除、公的年金控除等)

*デメリット 途中でやめることができない ・引き出し年齢 原則60歳以上
毎年、手数料がかかる。



* 詳細はイデコ公式サイト他各種関連HPをご確認ください。